



CSR NEWS



2020 JULY / Vol.9

メディア企業の強みを活かした
多様なCSR活動を展開



CSRスローガン

つなげる笑顔 つながる心
メディアの力でできること 無限大

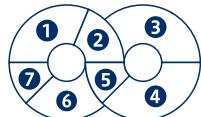


フジ・メディア・ホールディングスは多様なメディアの集合体です。

各社業態は異なりますが、共通する思いは

「創造する力」を通じて人と人とのつなぎ 笑顔をつくること。

社会の一員としてどんな社会課題の解決に結びつけられるかを常に考え、行動し続けます。



- ① フジテレビ「ずっとおうえんプロジェクト」
広島県呉市でのサザエさん上映会
- ② 「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」植樹風景
- ③ 「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」集合写真

- ④ テレビのお仕事体験
- ⑤ ポーカル＆手話パフォーマー「HANDSIGN」
- ⑥ ニッポン放送「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」
- ⑦ FNSチャリティキャンペーン

メディア企業の強みを活かした多様なCSR活動を展開

フジテレビ・BSフジ・ニッポン放送が「SDG メディア・コンパクト」に署名

「SDG メディア・コンパクト」とは、世界のメディアにSDGs※達成のための活動を促すことを目的とした国連による協力推進の枠組みです。SDGsの課題解決に向か、メディアの発信力を活かし現状を「伝える」ことで、課題について知ってもらい、世界を変えるきっかけづくりに努めています。

※SDGs(Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標は、貧困、環境、人権など地球規模の様々な課題を解決するための17の目標のことです。2015年に国連で採択されたもので2030年までの解決を目指しています。



フジテレビジョン

SDGsをテーマにした地上波レギュラー番組

『フューチャーランナーズ～17の未来～』を放送

・フジテレビ地上波(関東ローカル) 毎週水曜 22:54～23:00 放送中

・BSフジ(全国) 每週土曜 21:55～22:00 放送中

テレビの強みである「発信力」と「クリエイティブ能力」を活かして、持続可能な開発目標SDGsをテーマにしたミニ枠番組『フューチャーランナーズ』を制作・放送しています。課題解決に向けて熱心に取り組む人たちを紹介することで、SDGsを身近に感じてもらうとともに、多様な活動が認知されパートナーシップを生むきっかけになればと考えています。

番組サイトすべての放送を配信

英語字幕付き

<https://www.fujitv.co.jp/futurerunners/>

フューチャーランナーズ で検索！



NPO法人「TABLE FOR TWO international」
大宮千絵さん(2019年12月25日放送)

第2回 ジャパンSDGsアワード
パートナーシップ賞受賞
[2018年12月]



BSフジ

制作: **MEXTOP**
TV WORKSHOP CO., LTD.

『知りたい！SDGs』

・BSフジ(全国) 毎週木曜 22:55～23:00 放送中

SDGsをテーマにしたレギュラー番組『知りたい！SDGs』を、2019年10月より放送しています。今、世界には地球温暖化、貧困、格差、様々な地球規模の課題があります。「SDGsが掲げる17の目標」を、子どもや若者、高齢の方にもわかるよう、基本理念や各目標をひとつひとつ丁寧に解説。また、課題解決に取り組んでいる事例も紹介しています。

番組サイト

<https://www.bsfuji.tv/sdgs/pub/>



番組ナビゲーター 前田麻衣子

AM RADIO 1242ニッポン放送

「May I Help You?」キャンペーン

ニッポン放送ではSDGsに積極的に取り組むべく、開局65周年を機に「May I Help You?」キャンペーンをスタートしました。パーソナリティとリスナーの距離が近いラジオだからこそ、「どうかされましたか?」「お手伝いしましょうか?」等、まわりの方に声をかけることの大切さと一緒に学び、考えていきます。2030年まで残り10年となった今だからこそ「地球」のことを考えようと、2020年3月28日と5月5日には『なるほどSDGs～10年後の未来へ～』と題しSDGsを楽しく、わかりやすく、親しみやすい形で伝え、「リスナーに学んでもらい、参加してもらう」特別番組を放送しました。

キャンペーンサイト

<https://www.1242.com/mihp/>



剛力彩芽さんと
蟹江憲史・慶應義塾大学大学院教授

フジ・メディア・ホールディングス各社で協力

合同清掃活動が東京2020参画プログラムに！



毎年3月・7月・10月にフジ・メディア・ホールディングス各社の有志が集まり、お台場エリアの清掃活動を行っています。この活動は2012年10月から始まり、これまでに22回実施。今ではすっかり定着し、参加者は毎回70人を超えていました。そして、この活動がクリーンで快適な街づくりをめざす活動として「東京2020参画プログラム」に認証されました。これを受けて、2020年1月24日、競技会場が多く集まる臨海副都心エリアの清掃活動を行いました。フジテレビをはじめフジ・メディア・ホールディングス各社、東京臨海副都心まちづくり協議会、NPO等から108人が参加し、70リットルの袋27個分のゴミを回収して、街の美化に貢献しました。

「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」

地震や津波、更に放射能被害を受けた福島県で、「30年後に子どもたちが誇れる桜並木を」との思いからスタートした「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に、フジ・メディア・ホールディングス各社は2013年度から協賛しています。2019年度はディノス・セシールの顧客や、フジ・メディア・ホールディングス各社等から合わせて桜145本分の寄付をし、これまでの植樹本数は1,320本になりました。

2020年2月15日相馬市で桜の苗木を植樹しました。

株式会社 ディノス・セシール



フジテレビジョン

令和元年台風19号の被災地支援「サザエさん募金」を実施

フジネットワークでは、令和元年台風19号及び10月の大震の被災地の復興を応援するため、サザエさん募金を実施し、フジ・メディア・ホールディングス各社の協力も得て支援を募りました。[2019年10月15日～11月30日]

皆様から寄せられた募金総額
2億2,065万1,726円 は、
義援金として日本赤十字社を通じて被災地に送られました。



©長谷川町子美術館

※令和2年7月豪雨の被災地支援でも実施 [2020年7月9日～8月17日]

新型コロナウイルス対策

「おうち応援プロジェクト」

アナウンサー朗読によるデジタル紙芝居の配信

フジテレビアナウンサーによる「デジタル紙芝居」を、YouTubeにて配信しています。新型コロナウイルスの影響で自宅で過ごす時間が増える中、「親子で読み聞かせや音読をもっと楽しんでもらいたい」との思いから始めた企画で、第1弾は、宮沢賢治の名作「注文の多い料理店」、第2弾は、グリム兄弟「ブレーメンの町楽隊」。アナウンサーによる朗読と美しい挿絵で、見ても聞いても楽しめるコンテンツです。

YouTube おうち応援プロジェクト で検索！

フジテレビジョン FCC



挿絵はフジテレビ社員が担当しました。

第45回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、ニッポン放送が1975年から行っている目の不自由な方のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イヴからクリスマスにかけての24時間の特別番組を中心に、ラジオを通じて募金を呼びかけるもので、2年連続でKis-My-Ft2がメインパーソナリティをつとめました。

今世紀になっての最高募金額を2年連続で更新しました。

寄せられた募金は、目の不自由な方が安心して街を歩くのに役立つ「音の出る信号機」の設置や、本を音声朗読した「声の図書」「立体コピー機」など多数の視覚障害者用教育機器などに使われます。

実施日 2019年12月24日正午～25日正午

パーソナリティ Kis-My-Ft2 募金受付期間 2019年11月1日～2020年1月31日

最終募金額 **9,057万5,273円**

これまでの合計額は **46億7,205万3,451円**



FMH各社が共通のCSR活動としてこのイベントのお手伝いをしています。
今回もグループ内の14社から合わせて26人が街頭募金などに協力しました。



これまでに**3,183基**の
「音の出る信号機」が設置されました。

フジテレビジョン

FNSチャリティキャンペーン

FNSチャリティキャンペーンは、世界の子どもたちの笑顔のために行っているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社およびBSフジが放送などを通じて日本ユニセフ協会と連携し、47年にわたって実施しています。これまでの募金総額は約44億円。2019年度はウガンダ共和国を支援しました。



2020年度の支援国 モザンビーク共和国

モザンビークは、アフリカ大陸の南東部にある世界最貧国の一ひとつです。天然ガスなどの資源に恵まれ、今後の経済成長が期待されていますが、その恩恵は多くの人に届いていません。国民の約半分が国際貧困ライン（1日約200円）以下で生活しています。人口の大多数が天候に依存する自給自足の農業を営む中・北部の農村地域は開発が遅れており、貧困層が特に多くなっています。

2019年度の最終寄付総額
ウガンダ共和国支援

3,854万7,613円

集まった募金は公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援に活用されます。

フジサンケイグループ

顕彰制度を通じて社会に貢献

高松宮殿下記念世界文化賞

「高松宮殿下記念世界文化賞」は、公益財団法人日本美術協会（総裁・常陸宮殿下）により1988年に創設された、全世界の芸術家を対象にした顕彰制度です。賞は絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の5部門で、2019年10月に第31回の授賞式が行われました。これまでの受賞者は30ヶ国・160人となり、世界の文化芸術の普及・向上に寄与しています。



©日本美術協会／産経新聞

地球環境大賞

「地球環境大賞」は、フジサンケイグループが「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、世界自然保護基金（WWF）ジャパン（名誉総裁・秋篠宮皇嗣同妃殿下）の特別協力を得て、1992年に創設した産業界を対象とする顕彰制度です。これまでに29回開催しており、今では日本を代表する環境顕彰制度として広く社会に定着しています。



※写真は2019年第28回の贈賞式の模様
※2020年は新型コロナウィルスの影響で贈賞式は延期